

私が思うこと

今回は若いお二人にそれぞれの思いを語っていただきました。



『町消防操法大会三連覇』
第一分団二班
班長 林 俊太

まさか、町操法大会に於いて一昨年から三連覇出来るとは思っていませんでした。日頃の訓練の成果だと感謝しているところです。

消防団と言う地道な活動が、評価されたとも思っていますが、チームが一丸となった証として嬉しく誇りに思います。普段の消防団活動は辛い厳しいと思われがちですが、私たちは地域の方々の生命や財産を守る大事な役割があります。訓練のなかにも消防団員としての自覚が浸透してきたのも、班長として嬉しい事でもあります。消防団の活動としては本町での大会に出場し、優秀な成績をおさめることが本望ではありますが、それよりも迅速に消火活動が

出来るか否やであります。災害というのは、いつ何時起きるかも知れませんが常日頃から訓練してこそ消防団として力を発揮できるものと考えて、地域の為に私たちは頑張っています。ただ一つ残念なことは毎年、新規入団者が少ないという事です。自治会の方や我々も勧誘に同行しますが、成り手が減少しているが事実でもあります。消防団は決して訓練が厳しいとか、激務ではないと班長である自分も含めて新規入団者の勧誘に勧めています、其のことが一番のネックです。六月二十三日には自動車での郡操法大会が富加町で開催されますが、それまでは私たちも訓練を続けてセンバツの一員になれるように頑張りたいと思います。どうかこれからも町消防団へのご理解を頂き、地域の為に更なる錬成を続け坂祝町そして地域の為に尽力していきたいと思えます。



イタリアでの体験から
坂祝中学校
金森 陽香

私は町が行っている中学生海外派遣事業に参加し、9日間イタリアに滞在しました。海外に興味があったことと、自分のコミュニケーション力を試せる良い機会だと思い、挑戦してみたからです。

3泊4日のホームステイと学校訪問では、うまく交流できるか不安で一杯でした。しかし、迎えてくれた方々は、皆笑顔でどんどん話しかけてきてくれ、今しかない交流のチャンスを大切にしようとしているのを感じました。一緒に行った仲間も、積極的に話かけているのを見て、自分もこの時を悔いのないように過ごすために変わりたいと思えました。それからは心の底から交流を楽しむことができました。

この研修で得た経験は、どれも忘れられない最高の思い出です。英語やイタリア語が当たり前の環境の中で、ジェスチャーを使ったり、知っている単語を言ってみたりして、自分の思いを精一杯伝えようとする中で、相手も私の話に真剣に向き合ってくれました。伝わったときはお互い自然と笑顔になり、通じ合えたことをとても嬉しく思いました。伝えたいという思いを持つことが大切なんだと、言葉の壁があったからこそ気づくことができました。

この研修を通して、うまく伝えようとしなくてもいいから、どんどん自分を出していこうと思えました。これからは坂祝町の中学生海外派遣事業が続き、この貴重な体験から多くのことを学べる人が増えることを願っています。